

- 12/12・DX、経常黒字を下押し 1~10月 海外ITクラウド頼み、赤字1兆円超
・マネー、再びリスク志向 オミクロン警戒一服 NY株週間で1年ぶり上昇幅 <1>
- 12/14・韓国、TPP加盟申請へ 中国加盟方針で焦り 国内の合意形成が焦点 <2>
・欧州天然ガス急伸 10%上昇 米の独ロパイプライン稼働阻止姿勢巡り緊張
・北京五輪の外交ボイコット EU各国、慎重姿勢
- 12/15・トヨタ、EV投資4兆円 30年までに 世界販売目標8割増350万台
・アパレル 国内生産回帰 コロナで物流混乱 円安、現地人件費上昇などで
・国交省、統計書き換え 建設受注を二重計上 GDP上振れか 法違反の恐れ
- 12/16・中期防、初の5年30兆円 防衛費増額 日米協力強化の基盤に
・米中GDP、33年に逆転 昨年予測から後退 50年には米が逆転 <3> <4>
日経センター試算 中国、民間統制響く 日韓1人当たり、27年に逆転
・RCEP関税引き下げ 日本の恩恵最大に UNCTAD(国連貿易開発会議)試算
・英消費者物価5.1%上昇 11月、10年ぶり伸び率
・米、ウイグル自治区の全製品禁輸へ 下院法案可決 輸入、企業に証明責任
- 12/17・米利上げ来年3回 FRB、15日FOMC 緩和縮小、前倒し決定 <5>
新興国、過大債務企業、楽観的な市場に波乱の芽 マネー回収なら株・不動産に逆風
・英利上げ、コロナ後初 欧州中銀も緊急債券購入終了へ
・貿易赤字4ヶ月連続 11月 輸入、原油高で過去最高 <6>
・日銀 金融政策決定会合 緩和継続にジレンマ 景気回復に遅れ
米欧が利上げ、円安基調に 輸入コスト増「悪い物価高」
- 12/18・中国EV、乗用車も日本進出 第一汽車など 国内勢の出遅れ突く
・世界の感染1ヶ月2割増 欧米で営業規制も
・ロシアがNATOの拡大停止要求 ウクライナ巡り 米欧との協議難航も
- 12/19・欧州ガス高騰アジアに波及 LNG最高値 ウクライナ情勢背景
- 12/20・中国、アフリカに軍事拠点 大西洋側 赤道ギニアで計画 世界展開の動き米警戒
・中国、0.05%利下げ 景気停滞、1年8ヶ月ぶり
・家計金融資産1999兆円 9月末 2020年3月から約180兆円増

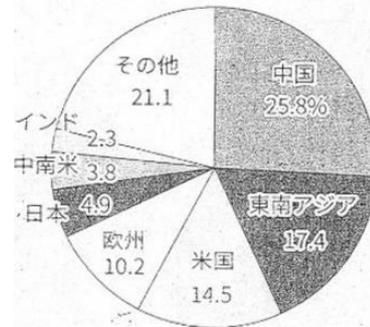
<1>



<2>

韓国の輸出相手国・地域

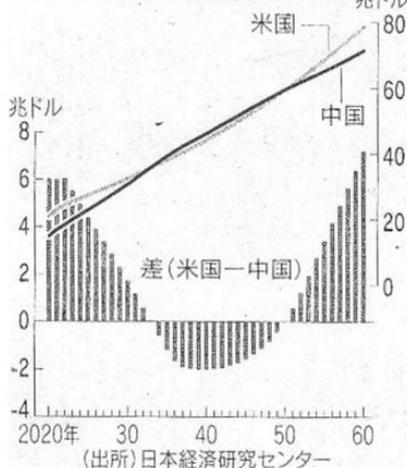
(20年輸出額:5128億ドル)



(出所)韓国産業通商資源省

<3>

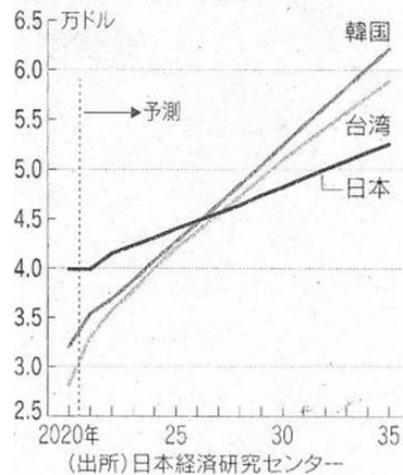
米中の名目GDP



(出所)日本経済研究センター

<4>

1人当たり名目GDP



(出所)日本経済研究センター

<5>

FOMC声明とパウエル議長発言の
主な内容

- 資産購入は22年3月中旬までに止まる
- 資産保有は続け、緩和的な金融環境を維持
- 資産購入終了から利上げまで前回ほど長い時間はかからず
- 最大雇用を達成するまでゼロ金利を維持することが適切
- 政策金利の予測中央値は22年末に0.9%と9月時点の予測よりおよそ0.5%高く
- インフレがより持続的になり、高インフレが定着するリスクも高まっている

<6>

11月の国・地域別の貿易収支

(単位億円、カッコ内は前年同月比増減率%、▲は減少または赤字、アジアには中国含む。差引額は四捨五入の関係で一致しない場合がある)

	輸出額	輸入額	差引額
総額	73,670 (20.5)	83,218 (43.8)	▲9,547 (-)
米国	12,991 (10.0)	8,557 (43.0)	4,433 (▲23.9)
E U	6,527 (16.4)	8,848 (39.3)	▲2,321 (213.3)
アジア	42,975 (24.7)	39,193 (24.4)	3,781 (28.3)
中国	15,771 (16.0)	19,792 (17.2)	▲4,021 (22.1)
中東	1,922 (6.6)	8,922 (134.6)	▲7,000 (249.8)